

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふあんたPlus		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが安心して通っており、楽しく過ごせている。 保護者からも安心して利用できているという声が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> その日の様子や気持ちを見ながら、無理なく活動に参加できるように声かけをしている。 一人ひとりのペースを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも安心して楽しく通えるよう、一人ひとりに合わせた関わりを続けていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに合わせた支援ができています。 個別支援計画に沿った支援につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から聞いたことや日々の様子をもとに、支援内容や関わり方を考えている。 職員同士でも様子を共有しながら支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も子どもの成長や変化を見ながら、その子に合った支援を続けていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とのやり取りがしやすく、日々の様子を共有しやすい。 相談しやすい雰囲気づくりにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や連絡帳で、その日の様子や気づいたことを伝えるようにしている。 気になることがあれば、その都度声をかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも日々のやり取りを大切にしながら、保護者との連携を続けていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容やねらいが、保護者に伝わりにくい部分がある。 日々の活動が見えにくいと感じられることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援は行えているが、活動内容や目的を十分に伝えきれていない部分がある。 口頭でのやり取りが中心になることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在は公式LINEで写真や動画を送るようにし、活動の様子が伝わりやすいようにしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースや建物のつくりについて、一部気になる点がある。 運動時のスペースや階段の安全面は、引き続き配慮が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上、活動内容によってはスペースに限りがある。 安全に気をつけているが、環境面で難しい部分もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や人数に合わせて使い方を工夫し、安全に活動できるようにしていく。 階段の昇り降りなどは、見守りや声かけを続けながら配慮していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催など、保護者同士が交流できる機会は少ない。 保護者同士のつながりにつながる場が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在は日々の支援や対応を中心としており、保護者同士の交流の場までは十分に設けられていない。 事業所外との交流や情報収集の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、保護者のニーズを見ながら、無理のない形で交流の機会を検討していく。 個別相談や小規模な話し合いなども含めて考えていく。